

2018年9月16日
北海道電力株式会社

北海道胆振東部地震による当社送配電設備の 被害状況と復旧見通しについて（第2報）

9月6日に発生した北海道胆振東部地震により、当社の送配電設備は、多大な被害を受けましたが、本日（9月16日）時点で判明している被害の状況と復旧の見通しについてお知らせいたします。

【送電設備の状況】

送電線名	設備被害状況・復旧予定	復旧見通し
岩知志線 (66kV)	No. 71 鉄塔倒壊（地滑り） ・鉄柱による仮復旧	9月13日完了済
	No. 107 鉄塔倒壊（地滑り） ・鉄柱による仮復旧	11月中
狩勝幹線 (275kV)	No. 52 鉄塔基礎損傷の恐れ（周辺地の地崩れ） ・鉄塔基礎補修	11月中

※ 岩知志線の一部と狩勝幹線については停止中であるが、現在、別ルートにより供給を行っている。また、長期的な地崩れの影響を考慮し送電線ルートの変更も検討中。

【配電設備の状況（9月16日15時00分現在）】

支持物（基）					電線（条）	変圧器（台）	
折損	傾斜	損壊	流失	小計	断線等	損傷	傾斜
35	166	5	121	327	295	32	396

【停電戸数（9月16日15時00分現在）】 59戸（厚真町、安平町）

※停電の状況につきましては、当社ホームページをご参照ください。

<http://teiden-info.hepco.co.jp/>

当社は、被害を受けた設備について、早急に復旧できるよう取り組んでおります。

皆さまにおかれましては、節電タイム（平日8時30分から20時30分）において、引き続き、「需要減1割の確保」に向けた「できる限りの節電」にご理解・ご協力をお願いいたします。

【添付資料】 被害を受けた送配電設備の状況（第2報）

以上

被害を受けた送配電設備の状況（第2報）

1. 送電設備の被害状況



2. 配電設備の復旧作業状況



土砂崩れにより電柱が流失した現場において、新たに電柱を建てている様子（厚真町）【9/13撮影】



土砂崩れにより電柱が流失した現場において、新たに電線を張っている様子（厚真町）【9/13撮影】